

英語

出題の傾向

長文問題・会話の問題・文法問題・文の書き換え問題・語句の並べ替え問題・語彙の問題・発音・アクセントの問題・英作文等様々な形式に基づいた出題となっています。中学校での既習内容を踏まえた標準問題がほとんどで基本的な単語・熟語・構文力を身につけておけば特に難しいものではありません。ただ、配点上、長文問題がかなりの点数を占めていますから、決められた時間内に長文を読み、その内容を理解する読解力が必要となります。

2016 今年度の出題と解説

1 長文読解問題

長文を読み、総合的な英語力を試す問題です。以前までは評論を中心とした問題を出題していましたが、ここ最近では会話形式での出題が続いています。今年度のテーマは『節分とイースター』についてでした。会話の流れを踏まえながら、英文の内容をきちんと把握できているかどうかを試す問題です。

問1 下線部①は比較的良好にできていましたが、gettingをgetingとしている答えが少なからずありました。短母音+子音字で終わる語のing形の原則を見逃していたようで残念でした。また、下線部③の答えでは、正解のborn をbearedとしている解答が約半数ありました。不規則動詞の変化を確実に覚えておくことが大切です。過去分詞にすることは分かっていたのに正解とならず残念でした。下線部④は比較的良好に解答できていて8割近くの人が正解でした。

問2 下線部②はitの内容が具体的にできていない人、is done (受動態)の訳、to send the devils away (鬼を追い払う)の訳ができていない答案が目立ち低い正答率でした。

問3 下線部⑤のdo itが前文のcelebrate Easterの部分の指しているのと分かっていた受験生はそれなりにはいたのですが、celebrateの意味がつかめていないようでした。脚注にcelebrate the resurrection of Christの訳例があったので、そこからも類推できたと思われるだけに残念でした。

問4 比較的高い正答率の問題でした。ただaとeの問題は半分以下の正答率でした。aでは、節分は2月3日ですが、"Setsubun" is the day before a new season starts. 「節分は新しい季節が始まる前の日です。」という説明部分が読めていなかったようで多くの受験生が引っ掛かってしまいました。eでは、Most schools and offices are closed...のMost「ほとんどの=全てではない」の部分が読めていなかったのが原因のようでした。

問5では(2)の正答率が低くなりました。What seasonと聞かれているので、季節名を答えればよいのですが、その解答方法が分からなかったようで springという答えの中心が書けていない答案が目立ちました。

会話文では、登場人物のそれぞれが何を発言し、どう話が展開しているのかを頭の中でイメージしながら読むことがとても大切になってきます。また、ちょっとしたミスで減点となってしまいます部分がたくさんありますので、比較的小さい文でも正確に読み取っていくことを身につけてください。

2 文の書き換え問題

昨年とほぼ同じ難易度の問題でした。(1)と(5)は低い正答率でした。

(1)では、tookをtakeやtakes, tooksと書いている答案が多くありました。

(5)ではhas beenという答案が多くありました。has gone to~(行ってしまった)とhas been to~(行ったことがある)の意味の違いをはっきり把握しておく必要があります。

意味をじっくり考えればできる問題ですので、教科書や問題集などを見て、同じような意味を表す文をまとめて整理しておきましょう。

3 語句の並べ替え問題

(1)、(2)の問題では約半分の正答率でした。(1)の問題では、be famous for ~の形が分かっていることが不正解の原因と思われました。(2)の問題ではSVOの語順が身につけていないようで、the computer and very usefullの語順を逆にしての人が約半数もいました。(3)はかなりよくできて

いましたが、(4)は低い正答率でした。(4)では感嘆文が分かっていたにもかかわらず、How to~で文を始める人が多く見受けられました。

これらの問題では、日本語を参考にどのような文法を問われているのかを考え、語を並べていきます。どれもが文法問題集等では典型的な並べかえ問題ですので、落ち着いて考えれば解ける問題です。ほとんどが学校で学習した文法からの出題ですので、各文法事項を確実に身につけて、応用できるように問題集を解いて慣れておく必要があります。

例年、助動詞、不定詞、分詞、動名詞、完了形、比較、関係代名詞といった文法事項がよく出題されています。

4 会話文の問題

全体的には良くできていて点数稼ぎの問題となりました。

こういった問題は、教科書や問題集などを参考にして、会話での決まり文句のような基本的な会話のやり取りを身につけておくことが大切となります。

5 語い問題

基本単語を出題しました。(4)のfarmerがあまり出来ていませんでした。riceとvegetablesに影響されてかfoodという答えが多かったです。

単語の定義が英語で示されています。短い英語を正確に理解することが大切です。また、教科書に出てくる単語は意味を覚えるだけでなく、必ず書いて練習して書けるようにしておきましょう。

6 空所補充問題

教科書レベルの基本的な文法力や語彙力を試す問題です。全体的によくできていました。典型的な空所補充問題ですので、教科書や問題集の例文などを見直ししておきましょう。

7 8 アクセント・発音の問題

基本的なアクセント・発音を出題しました。日頃、英文を読むときに発音を意識し、音読することを心がければ、この種の問題への対応がしやすくなります。

9 英作文の問題

条件を示した上での、自由英作文を出題しました。

(1)ではHow old are your father?という答えが、(2)では、What time did you got up?やWhat time did you get up この部分がない?, What time did you get up in this morning?、そしてクエッションマークの書き忘れ答案が目立ちました。

出来上がった後、日本語をもう一度良く読み、全ての日本語の英訳に訳し忘れないかをよく確認しましょう。また、疑問文なのでクエッションマークは必ず必要です。

解答例を見れば分かるように、決して難解な表現を問う問題ではありません。正確な英文をきちんと書けるようにしておくと共に、基本的な表現・語句がどのような状況で用いられるのか、日頃から意識して学習するようにしておきましょう。

対策と アドバイス

標準的な問題がほとんどで、教科書を中心に勉強しておけば対応できます。定期考査や実力問題で出題された問題を復習すると共に、教科書に出てきた単語・熟語、重要文を理解して、徹底して暗記しておいてください。また、文法のパターン練習が不足していると思われる解答が目立ちました。市販の問題集などで問題に慣れておくのも良いでしょう。長文問題の苦手な受験生は、まず教科書の英文を読み、その内容が確実に理解できるようにしておいてください。過去の問題集を解いて慣れておくことも大切です。最後に、英文に接する際には必ず小声でいいので、音読をする習慣を身につけておきましょう。そして、単語は必ず書いて覚える勉強法を実践してください。